

主任コラム 1月号

主任 澤井 良子

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

今年度も残すところあと3カ月となりました。この3カ月の中には、生活発表会・卒園式・入園式・移行と進級があります。子ども達、私達職員にとっても大切な行事となりますので1日1日を大切に保育にあたっていきたいと思います。

12月にはクリスマス会がありました。アドベントカレンダーを各クラスで作ることで当日までを子ども達と楽しみながら過ごし、また各年齢ごとに、職員から発達にあった手作りプレゼントを渡したり、3・4・5歳児クラスは、子ども達が3つの製作の中から自分が作りたい物を決めて作り、各年齢に分かれて、クリスマス会の日に音楽に合わせてプレゼント交換をしました。初の試みでしたが、作る段階から「自分がもらって嬉しいと思えるように丁寧に心を込めて作ること」「交換の時にどのお友達のプレゼントを貰っても大切に扱い、作ったお友達が嫌な思いになるような言葉はいわないようにしましょう」という事を伝えながら製作をしました。バスボム・スタンドグラスなどを作りましたが、作品に作った子の名前を付けてからラッピングをしたので「〇〇ちゃんのを貰えた」と嬉しそうに言っていました。プレゼンと交換という楽しみの中にも『気持ちを考える』という保育の中や、集団の中でしか経験が出来ない【心情】を学ぶ機会にもなったと思います。クリスマス会では、ながさわ保育園の役員をお願いしている近藤さんがサンタさんをして下さいました。子ども達は「本物のサンタさんが来た！」と大喜びでした。園の行事に地域の方にも携わって下さり嬉しく思います。ありがとうございました。



2月の生活発表会に向けて各クラスで取り組んでいます。【言葉・表現の発達】を保護者の方に見て頂くことを目的としています。今年度は0・1歳児クラスも保護者の方と一緒に舞台に立ち全園児が参加します。0・1歳児クラスは普段のやりとりや言葉の発達。2歳児は、保育士や子ども同士の言葉のやりとりと表現発達。3・4・5歳児は、ダンス・製作・劇の中から自分がしたい物や得意としているところを保育士と話し合う中で、それぞれが自分自身で選択して決めました。普段の生活の中でも3・4・5歳児の異年齢では3年という年齢の幅の中で、【能力の異なる多様な者を一緒にする】【能力の似た者を一緒にする】ということや、年齢よっての言葉の違い・模倣相手として自分の発達より少し上の子を見ること。そして、教え・教わり・やってあげ・やってもらうなどの日々の保育の中でしています。子ども達がこの行事をどうしたら楽しく参加できるのかを考えながら当日を迎えたいと思います。

生活発表会
取り組みの様子

